

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

# 五感で感じる屋久島

岳南中学校 一年 渡辺 瑚々

私が住んでいる屋久島には、島の大きさを  
 は考えられないほどの緑がある。少し北を向  
 くと、壮大で美しい山々を見ることができ  
 し、南を見ると静かでもどこまでも広がっ  
 る海を見ることができ。このようにどこで  
 も自然が感じられる場所は少ないと思う。山  
 をゆっくり眺めていると、こちらまで穏やか  
 な気持ちになることができる。ふと目を凝ら

中学校

すと、種類の違う木や、山が削れて岩がむき  
 出しになっていている。見ていて飽きない。  
 だが、少し山の中に入ると、また違った面  
 白さを味わうことができる。例えば大川の滝  
 は、自然の中にひっそりとたたずむ美しい滝  
 だ。山道を歩いていくとだんだんと水の音が  
 聞こえてくる。近くまで行くと、溢れるくら  
 いの緑の隙間から水しぶきが見えてくる。目  
 の前まで来るとまるで白いカーテンが流れて  
 いるように、水が優雅に流れ落ちていく。辺

No.

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

りに飛んだ水しぶきは太陽の光に照らされて、  
 きらきらと宝石のように光っている。滝の周  
 りを見ると、大きな杉の木や緑のこけに覆わ  
 れた岩があちこちに見える。空気は少しひん  
 やりして、滝の様子を演出しているよう  
 だった。雨が降った日に見にくくと、見た目  
 が豹変し、雷のように水が下に打ち付ける。  
 水の量が増えてとても迫力がある。だが、雨  
 の日に行くときは、滑るので注意しなければ  
 ならない。大川の滝だけでなく、他にも様々

中学校

な滝があるので、また違った雰囲気があつて  
 面白い。  
 そしてもし、登り続けることに疲れしま  
 したときは、田代ヶ浜もいいたろう。屋久島  
 の南部、森林を抜けた先に、田代ヶ浜は姿を現  
 す。浜辺に立つと、目の前に広がるのはどこ  
 までも澄んだ青い海。波は優しく、静かに砂  
 をさらい、また戻っていく。そのリズムがと  
 ても心地よいのだ。ところどころに打ち上げ  
 られた貝殻や流木が自然の芸術品のよう

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぎえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぎえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

辺を彩っている。背後には緑深い山々がそびえ、風が吹くと木林の白いがふわりと浜まで届く。空は、広く、高く、雲がゆっくりと流れていく。海と空の境目がとても近く感じられ、世界がつながっているような不思議な感覚を覚える。夕暮れになると空は、淡い青から儂いオレンジに変わり、海もまたその色を映す。波の音に交じって、どこかで鳥の声が聞こえる。自然の音だけが響く時間、それが田代ヶ浜の最大の魅力かもしれない。

中学校

山や海、滝や浜辺。屋久島には、人の手が及ばない自然の姿がそのまま残っている。何度見ても飽きることはない風景。屋久島の自然は、ただ「美しい」だけでは語りきれない奥深さがあると思う。日々の暮らしの中で、こうした自然と生きていけることに、私は心から感謝している。

No. ....

- 5、読みやすいように、「と」とをしっかりとつけましょう。「と」とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)

